



# じょうほう 織部

平成25年度

第2号

3月1日発行  
PTA広報委員会

大東高校PTA会報

## 卒業おめでとう



## 『がんばる大東高校』

PTA会長 狩野 明芳

昨年10月23日に、本校の卒業生で現在札幌市を拠点に全国で活躍されている石川尚子さんを講師に招いて、コーチングやコミュニケーションに関する講演会がチェリヴァホールで開催されました。石川尚子さんは、高校生などの就職カウンセリングやコーチングの講師をされており、著書も多数発刊されています。問題を解決するための答えは外にあるのではなく自分の内側にあるので、それを引き出すのがコーチングであり、そのためには例え話や選択肢を交えながら、相手が答えやすい質問を投げかけることが大事であることなどたくさんの示唆にとんだ話をされました。石川さんをはじめ、これまで数多くの卒業生を輩出している本校は、平成30年度に創立百周年を迎えます。

歴史と伝統のある本校ですが、先日新聞で県内の公立高校の志願者数が発表され、残念ながら前年度より少し減少していました。現在学級数は4クラスを維持していますが、入学者が120名を下回る状況が続くとクラス減の危険信号となるようです。今後も少子化の状況は続きますが、近隣の中学校の卒業見込み数は今後5年間（平成30年度まで）毎年320名以上との推計値が出ていますので、一層の高校の魅力向上がなされ、入学者が増えることを願うところです。

一方、うれしい話題もありました。第86回選抜高校野球大会の21世紀枠候補校として全国9校のひとつに本校が選ばれ、周囲の注目と期待が集まり多くの方から激励の声を掛けていただきました。結果は残念ながら出場校に選ばれませんが、生徒が頑張る姿は地域の方にも元気を与えています。この他にも、1年生が加茂小児童に英語の出前授業をした様子や、高校図書館の一般開放と言った話題が新聞や市報で取り上げられました。高校は、地域の大切な宝です。生徒や保護者はもちろん、先生、部活動後援会、八雲会そして地域の皆様と共に「がんばる大東高校」を応援して行きたいと思えます。

最後になりますが、代議員としてそれぞれの地域からお出かけいただき、各種の委員会等でご活躍をいただきました役員の皆様方、またPTA活動にご理解ご協力をいただきました会員の皆様方に感謝申し上げます。

## 本年度の反省

総務委員長 本常 明子

本年度の総務委員会の活動は、織部祭でのカレー作りでした。不慣れな委員長のもと、迷惑をおかけしたところもあったと思いますが、多くの保護者の皆様にご協力いただき、心より感謝しております。

委員長という大役に、不安と緊張の一年でしたが、貴重な経験をさせていただきました。今回のカレー作りでは、野菜の切り方、炒め方、譲れないこだわりなど、それぞれのやり方があり、興味深く勉強になりました。

どんな場面でも各個人、意見が違うのも当たり前であり、またそれが面白いところでもあります。皆が活発な意見を出し合い、来年度は更に活気のある総務委員の活動がされますよう、期待しております。

## PTA活動の記録



PTA大会

写真は前島根県教育監  
花田英治先生による講演会



文化祭(カレー)



PTA 大東支部による除草作業



講師：野々村直道氏  
(教育評論家・前開皇高校野球部監督)  
「私の強育論」



PTA 研修会

## 講演報告

研修委員長 西 嘉直

平成25年11月23日(金)にPTA研修会を大東高校体育館で開催しました。大東高校OBであり、開星高校監督として名をはせられ、現在は教育評論家としてご活躍中の野々村直道先生に、「私の強育論」と題して講演していただきました。現在の3年生は、以前、先生の講演を聴く機会があったと聞いています。PTA会員のための研修会ではありますが、せっかくの機会でもあり、1,2年生の生徒さんにも一緒に講演を聞いてもらうことにしました。

当日は約70名と予想以上に多くの保護者に参加いただき、盛況の内に開催することができました。野々村先生は「何か困難があるたびに「これは運命だから」とあきらめてはだめ。性別や顔かたちなどは予め定まっている「宿命」であり自分の力で変えることができないが、「運命」は自分の力で変えることができる。努力し続けることが大切。」と情熱的に語られました。

講演を快くお引き受けいただいた野々村先生をはじめ、お忙しい中ご参加いただいた会員の皆様、時間割の調整や諸準備にご協力いただいた大東高校の諸先生、研修委員会への参加や当日の受付などお忙しい中ご協力いただいた研修委員の皆様に、紙面を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

## PTA活動員としての一年間

育成委員長 高尾 英也

平成25年度のPTA副会長、並びに育成委員長という大役をさせていただきました。

何分不慣れなことで、先生方、会員の皆様にはご迷惑をおかけしたと思っておりますが、無事任期を終えることができました。改めてお礼を申し上げます。

育成委員の活動として、夏のパトロールの際には先生方、役員の皆様に大変お世話になりありがとうございました。特に注意、指導することもなく良かったと思っております。

それからPTA活動の中で、中国・四国地区高等学校PTA連合会島根大会に参加させていただき、精力的に活動を行っているPTAの皆様の研究協議、発表を拝見させていただきました。このような保護者のもとで、学校生活を送る子どもたちは、真面目に取り組んでいるのだろうなあとと思いながら拝見させていただきました。

子どもたちが学校生活を送る中でPTA役員に限らず、保護者として子どもたちや学校にもっと関わってあげれば良いのではと思っておりました。

最後になりましたがこの一年間、関係者の皆様に大変お世話になりありがとうございました。

## 生徒の皆さんへの想い

広報委員長 鳥谷 史生

PTA副会長を引き受け広報委員長となり、最初は重荷を感じました。ある人からの「心配したり悩んだりするのも親の特権ですよ」という言葉に、少し気持ちが軽くなり、前向きに考えられるようになりました。

「じょうほう織部」の編集において、生徒の皆さんの生活の様子や活動について垣間見ることができました。我が子に思いを寄せると、ケガや病気でよく心配させられた幼少期から体も心も大きく成長して、友達同士で助け合っている姿に頼もしさを感じました。同じ想いの保護者の方も多いのではないのでしょうか。

大東高校の教育目標に、「他者を思いやることのできる心豊かな生徒を育てる」とあります。その指導が生徒の皆さんの日々の生活に根付いているように感じて嬉しく思いました。

思いやりを持ち人と共に生きていくことを「共助」というそうです。それを具体的に実行、実践していく力こそが「人間力」だと書いてありました。生徒の皆さんには、大東高校で養われる人間力を土台として、学力や知識を伸ばしてほしいと願います。

最後に、PTA役員として活動できましたことを全ての方々に感謝いたします。

1・2年生

# 出張講義

11月14日(木)

様々な専門分野の先生をお招きして講義をしていただきました。



1年生

# スキー研修

1月29日(水)～31日(金)鳥取県大山にて

2泊3日の実習で生徒たちはメキメキと上達しました。



# 一年間を振り返って



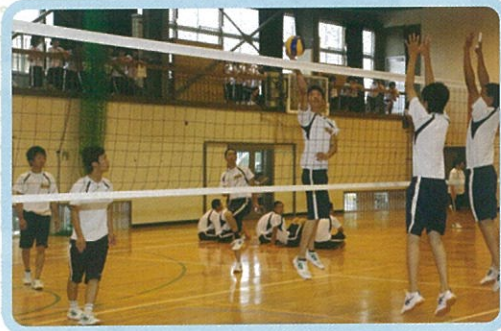
## 遠足

4月23日

1年生は 境港鬼太郎ロード  
2年生は 安佐動物公園  
3年生は 蒜山高原センター



## 球技大会



## 壮行式



## 自習開放

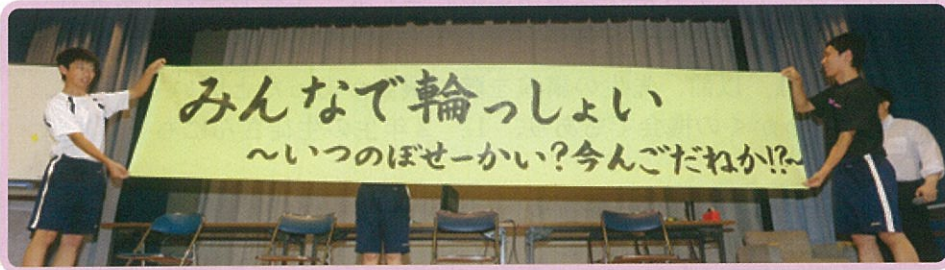


# 織部祭

文化祭／第1位 緑分団(3-4 2-4 1-1)

体育祭／第1位 赤分団(3-3 2-2 1-3)

◎織部祭 総合成績 第1位 赤分団



## 【文化講演会】

講師：福島県石川町

町長 加納武夫氏

テーマ：「チャンスは  
日々の努力から」

## 1年生外国語活動

1月22日(水)に、1年生26名が加茂小学校の6年生のクラスに対して英語で授業を行いました。



## 震災ボランティア

島根県社会福祉協議会が取り組んでいる東日本大震災島根県災害ボランティア隊の一員として、夏休みに6名、冬休みに2名の生徒が参加をしました。



## うんなん若者会議

11月10日(日)に、雲南市及び、雲南市次世代育成事業実行委員会の主催で、雲南市加茂文化センターにおいて開催され、多分野のゲストを招き、市内外の若者が集い、地域づくりをテーマに話し合いました。本校からは13名の生徒が参加しました。



## 宝発見シンポジウム

2月9日(日)に三刀屋文化体育館アスパルにおいて、雲南市で行われているキャリア教育モデル事業に関して多くの方にその内容を理解していただくことを目的として開催され、本校生徒も2チームが発表を行いました。



## 編集後記

- ◇今年度も終わりに近づき本会報第2号発行となりました。PTAの皆様におかれましては様々な面で子どもたちの成長にご協力いただき、ありがとうございました。
- ◇昨年の今頃はまだ1年あると思っていましたが、この度我が子の卒業を迎えるにあたり一日一日が惜しまれます。この3年間の様々な出来事を思い出す度に親子共々成長できたことに感謝いたします。
- ◇親も子も忙しく、すれ違いが多い昨今と思われませんが、この「じょうほう織部第2号」を読んでいただいで、子どもたちの「輝ける今」を知っていただければと思います。
- ◇編集に携わっていただいた委員の皆様、また原稿の依頼を快く引き受けていただいた保護者の方々、先生方、生徒の皆さんに心より感謝いたします。